



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年7月31日

上場会社名 日本調剤株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3341 URL <https://www.nicho.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 三津原 庸介
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 加藤 慶 TEL 03-6810-0800
 四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	81,848	9.6	3,653	21.7	1,596	78.9	1,605	75.7	659	68.6
2023年3月期第1四半期	74,709	4.0	3,002	2.5	892	△4.8	913	△8.0	391	△8.5

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 661百万円 (67.5%) 2023年3月期第1四半期 395百万円 (△8.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	22.06	—
2023年3月期第1四半期	13.05	—

(注) EBITDA= (営業利益+減価償却費+のれん償却費)

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	199,201	56,771	28.5
2023年3月期	185,297	56,483	30.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 56,771百万円 2023年3月期 56,483百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	12.50	—	12.50	25.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	12.50	—	12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期(累計)	164,100	7.7	5,700	△19.5	1,400	△50.2	1,400	△50.9	400	△75.1
通期	334,400	6.7	15,300	△6.3	6,400	△15.6	6,300	△18.0	3,200	△28.2

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	32,048,000株	2023年3月期	32,048,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	2,132,611株	2023年3月期	2,133,695株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	29,914,448株	2023年3月期1Q	29,986,825株

（注）期末自己株式数には、役員報酬BIP信託が所有する当社株式（2024年3月期1Q 71,116株、2023年3月期 72,200株）が含まれております。また、役員報酬BIP信託が所有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式数に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現在入手している情報による当社の判断及び仮定に基づく予想であり、リスクや不確実性を含んでいます。また、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因により、これら業績予想等とは大きく異なる結果となる場合があります。

(2) 四半期決算補足説明資料の入手方法

四半期決算補足説明資料については、TDnetにて適宜開示し、当社ホームページへも掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2023年4月1日～2023年6月30日）における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の分類も5類感染症へ移行する中、行動制限の緩和等により持ち直しの動きがみられました。先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、緩やかな回復が続くことが期待されておりますが、海外景気の下振れや物価上昇等の影響に十分注意する必要がある状況です。

このような経済情勢のもと、当社グループでは、「すべての人の『生きる』に向き合う」を使命とするヘルスケアグループとして、良質な医療サービス及び医薬品の提供に取り組んでおります。また、同時に全社を挙げたコスト抑制にも継続して取り組んでおります。

2023年6月には、ESG（環境・社会・ガバナンス）について優れた対応を行っている日本企業を対象とした指数「FTSE Blossom Japan Index」及び「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の両構成銘柄に当社グループが初めて選定されました。

また、当社グループは、会社を支える人（Human）を重要な経営資源と捉え、採用、育成、評価およびエンゲージメントの施策に対し、積極的な投資を行っておりますが、2024年3月卒業予定の大学生・大学院生を対象に、就職情報大手のマイナビと日本経済新聞社が実施した、就職希望企業調査「マイナビ・日経 2024年卒大学生就職企業人気ランキング」において、「化学・薬学系」カテゴリで第1位、「医療・福祉・調剤薬局」、「理系総合」、「理系女子」の3項目で調剤薬局・ドラッグストア業界内トップの得票をいただくことができました。

調剤薬局事業においては、セルフメディケーションの推進を目的に、OTC医薬品のプライベートブランド（PB）「5COINS PHARMA（読み：ファイブコインズファルマ）」を新たに展開いたしました。「5COINS PHARMA」はOTC医薬品では業界初（当社調べ）の価格均一ブランドで、解熱鎮痛薬や胃腸薬、トローチなど14品目すべてを税込550円で販売しており、ヘルスケア通販サイト「日本調剤オンラインストア」及び全国の日本調剤の店舗でご購入いただけます。

医薬品製造販売事業においては、ジェネリック医薬品の品質管理と安定供給を最優先しつつ、研究開発投資による新規薬価収載品を含む自社製造品の拡大及び生産性の向上に取り組んでおります。2023年6月には、3成分6品目について新規薬価収載を行いました。安定供給に向けては、業界全体の供給不安や2021年11月の西日本物流センターの火災の影響等により、多くの販売品目について限定出荷を行っていましたが、安定供給体制が整った製品から順次通常出荷に戻しております。2023年6月末時点での限定出荷品目数は136品目となっており、引き続き供給責任を果たすべく取り組みを進めてまいります。

医療従事者派遣・紹介事業においては、医師紹介事業における新型コロナワクチン接種関連需要が一段落した一方、新型コロナウイルス感染症の影響により減少していた主力である薬剤師の派遣・紹介事業が引き続き回復傾向にあります。また産業医事業においても需要が拡大しており、2023年5月には新たなWEBサイトを展開する等企業の健康経営への貢献をさらに推し進めてまいります。

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高81,848百万円（前年同期比9.6%増）、営業利益1,596百万円（同78.9%増）、経常利益1,605百万円（同75.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益659百万円（同68.6%増）となりました。

セグメント別の経営成績は以下の通りです。

① 調剤薬局事業

当第1四半期連結累計期間の売上高は72,309百万円（前年同期比8.9%増）、営業利益は2,907百万円（同40.9%増）となりました。6月末時点での総店舗数は、同期間に11店舗の新規出店、4店舗の閉店を行った結果、計725店舗となりました。売上高及び営業利益につきましては、前年度の出店効果及び処方箋枚数の増加等により増収増益となりました。なお、国が2023年度末までにすべての都道府県で80%以上とすることを目標として掲げているジェネリック医薬品の数量ベース使用割合は、当社グループでは6月末時点ですべての都道府県において80%を達成しており、全社平均では88.2%（供給停止品目等を算出対象から除外して計算）に達しております。また、在宅医療実施店舗の割合は95.5%（年間12件以上実施の店舗割合）と順調に推移しております。

②医薬品製造販売事業

当第1四半期連結累計期間の売上高は10,530百万円（前年同期比5.0%増）、営業利益は126百万円（同53.4%減）となりました。売上高につきましては、既存販売品及び新規薬価収載品の堅調な販売により増収となりました。営業利益は、2023年4月の薬価改定に伴う既存販売品の販売価格の下落、一部製品の限定出荷の影響により減益となりました。なお、2023年6月末時点での販売品目数は、長生堂製薬を中心に販売品目の見直しを進めるとともに、2023年6月に新規薬価収載品合計4品目を発売したこと等により578品目（一般用医薬品2品目を含む）となりました。

③医療従事者派遣・紹介事業

当第1四半期連結累計期間の売上高は2,580百万円（前年同期比24.9%増）、営業利益は484百万円（同36.1%増）となりました。売上高及び営業利益につきましては、医師を中心とした新型コロナワクチン接種関連売上が減少する一方、新型コロナウイルス感染症の影響により減少していた薬剤師の派遣・紹介実績が前年同期を上回ったこと等により増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は199,201百万円となり、前連結会計年度末の185,297百万円に対し、13,903百万円、7.5%増加いたしました。主に、現金及び預金、商品及び製品の増加によるものです。

負債合計は142,429百万円となり、前連結会計年度末の128,814百万円に対し、13,615百万円、10.6%増加いたしました。主に、買掛金の増加によるものです。

純資産合計は56,771百万円となり、前連結会計年度末の56,483百万円に対し、288百万円増加いたしました。この結果、自己資本比率は28.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年4月28日に公表いたしました、2024年3月期 第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

今後、業績予想の修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,770	31,226
受取手形	70	107
売掛金及び契約資産	21,246	20,523
電子記録債権	437	235
商品及び製品	28,416	33,901
仕掛品	1,742	1,522
原材料及び貯蔵品	6,021	5,785
その他	4,022	4,624
貸倒引当金	△6	△7
流動資産合計	85,720	97,919
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	28,361	28,094
土地	13,377	13,377
建設仮勘定	1,828	1,779
その他（純額）	17,867	17,630
有形固定資産合計	61,435	60,881
無形固定資産		
のれん	14,195	14,004
その他	5,377	5,809
無形固定資産合計	19,573	19,814
投資その他の資産		
投資有価証券	16	16
敷金及び保証金	9,160	10,589
その他	9,391	9,978
投資その他の資産合計	18,568	20,585
固定資産合計	99,576	101,281
資産合計	185,297	199,201

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	47,916	60,512
電子記録債務	1,476	1,845
短期借入金	2,000	900
1年内返済予定の長期借入金	10,390	10,645
未払法人税等	2,640	1,407
賞与引当金	3,892	2,138
役員賞与引当金	68	-
その他	8,665	11,337
流動負債合計	77,050	88,787
固定負債		
長期借入金	44,640	46,424
役員退職慰労引当金	79	82
退職給付に係る負債	2,464	2,522
その他	4,579	4,612
固定負債合計	51,763	53,641
負債合計	128,814	142,429
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,953	3,953
資本剰余金	10,926	10,926
利益剰余金	45,216	45,501
自己株式	△3,600	△3,599
株主資本合計	56,495	56,782
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	△12	△10
その他の包括利益累計額合計	△12	△10
純資産合計	56,483	56,771
負債純資産合計	185,297	199,201

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年 4月 1日 至 2022年 6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年 4月 1日 至 2023年 6月30日)
売上高	74,709	81,848
売上原価	61,928	68,067
売上総利益	12,780	13,781
販売費及び一般管理費	11,888	12,185
営業利益	892	1,596
営業外収益		
受取手数料	9	11
受取賃貸料	142	153
受取保険金	40	-
補助金収入	17	19
その他	62	46
営業外収益合計	271	231
営業外費用		
支払利息	64	64
支払賃借料	107	99
その他	78	58
営業外費用合計	250	222
経常利益	913	1,605
特別利益		
固定資産売却益	11	0
特別利益合計	11	0
特別損失		
固定資産売却損	0	-
特別損失合計	0	-
税金等調整前四半期純利益	925	1,605
法人税、住民税及び事業税	888	1,305
法人税等調整額	△354	△359
法人税等合計	534	945
四半期純利益	391	659
親会社株主に帰属する四半期純利益	391	659

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年 4月 1日 至 2022年 6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年 4月 1日 至 2023年 6月30日)
四半期純利益	391	659
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	3	1
その他の包括利益合計	3	1
四半期包括利益	395	661
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	395	661

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	調剤薬局 事業	医薬品製造 販売事業	医療従事者 派遣・紹介 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	66,375	6,271	2,063	74,709	—	74,709
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	3,756	3	3,759	△3,759	—
計	66,375	10,027	2,066	78,468	△3,759	74,709
セグメント利益又は損失(△)	2,062	270	355	2,688	△1,796	892

(注) セグメント売上高合計及びセグメント利益合計と、四半期連結損益計算書の売上高及び営業利益との調整を行っております。なお、セグメント利益又は損失の調整額△1,796百万円にはセグメント間取引消去△29百万円及び全社費用△1,766百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	調剤薬局 事業	医薬品製造 販売事業	医療従事者 派遣・紹介 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	72,309	6,962	2,575	81,848	—	81,848
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	3,567	5	3,572	△3,572	—
計	72,309	10,530	2,580	85,420	△3,572	81,848
セグメント利益又は損失(△)	2,907	126	484	3,517	△1,921	1,596

(注) セグメント売上高合計及びセグメント利益合計と、四半期連結損益計算書の売上高及び営業利益との調整を行っております。なお、セグメント利益又は損失の調整額△1,921百万円にはセグメント間取引消去△130百万円及び全社費用△1,790百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。